

科目ナンバリング											
授業科目名 <英訳>		都市空間論 Theory of Urban Space and Architecture				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 中嶋 節子			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)		地域・文化(基礎)			使用言語		日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態		講義（対面授業科目）			
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	水1			配当学年	全回生		対象学生	全学向
[授業の概要・目的]											
人間が造ってきた都市空間の特徴を歴史的にたどるとともに、その上にあらわれる建築と人々のいとなみについて講義する。とりわけわが国の都市空間と建築について、その形態的特徴と成立過程を社会・文化的背景と関連付けながら詳細に解説する。また、こうした歴史的環境がいかに維持、保存されてきたか、あるいは記録、検証されてきたかに関して、制度の推移や時代的傾向、思想、技術的進歩などから概観するとともに、現状の課題とその将来像について検討する。											
[到達目標]											
都市と建築に関する基礎的知識を習得することによって、現在の都市空間への理解を深めることが可能となる。											
[授業計画と内容]											
以下の内容について講義する。講義順については前後する場合もある。写真や映像資料、図面、地図などを用いることで、視覚的、感覚的な理解を目指す。以下の内容について講義するが、順序については前後することもある。											
1 都市のコスモロジー : 古代都市の理念											
2 都市のコスモロジー : ルネサンス都市・理想都市・バロック都市											
3 日本の都市空間 : 古代都市から中世都市へ											
4 日本の都市空間 : 近世城下町と地方都市											
5 都市の建築 : 町屋の発生と展開											
6 都市の建築 : 都市のくらしと町屋											
7 日本の都市空間 : 近世都市から近代都市へ											
8 都市の建築 : 近代建築の登場											
9 都市の建築 : 町屋の近代化											
10 日本の都市空間 : 近代都市の拡大と郊外											
11 都市の建築 : 郊外住宅地と近代住宅											
12 都市の建築 : 近代建築の展開											
13 歴史的環境の保存・活用 : 文化財行政の歩み											
14 歴史的環境の保存・活用 : 民間の保存運動の展開と現在											
[履修要件]											
文系・理系を問わず、都市や建築、あるいは歴史に興味がある学生に是非受講していただきたい。											
[成績評価の方法・観点]											
授業中に課す小レポート(50%)と、期末のレポート(50%)によって評価する。その際、出席状況も考慮する。											
----- 都市空間論(2)へ続く↓↓↓ -----											

都市空間論(2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

授業で紹介する都市や建築を最低5か所以上、訪れていただきたい。講義や書物などではなく、実際に現地に出かけ、自身の目で見ること、はじめて理解したことになると考える。

[その他(オフィスアワー等)]

歴史的環境の多様性とその背景にある文化を理解した上で、それらを尊重し、未来に伝えることの重要性を認識していただきたい。